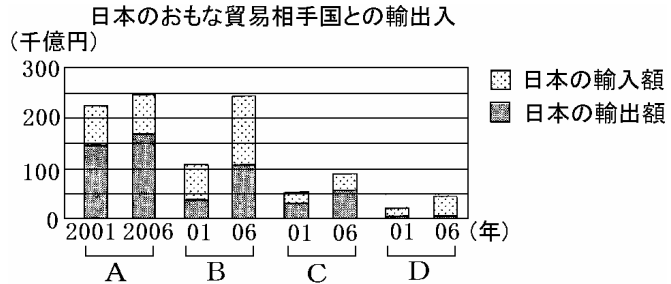


【】貿易・交通・通信

【】貿易：相手国

[問題]

次のグラフ中の A～D は、日本のおもな貿易相手国である韓国、中国、サウジアラビア、アメリカ合衆国との 2001 年と 2006 年における輸出入額を表したものである。A に当てはまる国名を答えなさい。



(2009 年島根県)

[解答欄]

[解答]アメリカ合衆国

[解説]

B は中国、C は韓国、D はサウジアラビア

[解説]

輸出と輸入をあわせた金額では、2007 年に中国がアメリカを抜き、日本にとって最大の貿易相手国となった。

2008 年輸出(総額 81.0 兆円)の相手国順位は、アメリカ(17.5%)、中国(16.0%)、韓国(7.6%)、台湾(5.9%)、香港(5.2%)である。

2008 年輸入(総額 79.0 兆円)の相手国順位は、中国(18.8%)、アメリカ(10.2%)、サウジアラビア(6.7%)、オーストラリア(6.2%)、アラブ首長国連邦(6.2%)である。

統計：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P322

[問題]

右の資料の X は、日本の主要な貿易相手国である。この国について説明したものとして、誤りのものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国土も広く、人口は世界で最も多い。
- イ 原則として一人っ子政策がとられている。
- ウ ASEAN に加盟している新興工業国である。
- エ 日本と平和友好条約を結んでいる。

輸入相手国(%) (2008 年)	
[X]	18.8
アメリカ	10.2
サウジアラビア	6.7
オーストラリア	6.2
アラブ首長国連邦	6.2

(2007 年宮崎県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

わが国の最大の輸入相手国が中国であることは、デパートやスーパーの衣服、百元ショップの品目の大部分が中国産であることからもうかがえる。ASEAN は東南アジア諸国連合であり中国は加盟していない。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P322

[問題]

次の表は、アメリカ、イギリス、中国について、それぞれの国の日本への輸出総額の推移と、主要輸出品の輸出額の割合を示したものである。表中のA～Cに当てはまる国名を書きなさい。

	日本への輸出総額の推移 (億円)			日本への主要輸出品の輸出額の割合 (2007年：単位%)		
	1995年	2001年	2007年	第1位	第2位	第3位
A	35,922	70,267	150,355	機械類(37.0)	衣類(15.3)	がん具(3.8)
B	7,151	7,290	8,865	機械類(22.6)	自動車(15.1)	医薬品(14.8)
C	75,408	76,715	83,487	機械類(31.9)	航空機類(7.1)	精密機械(5.7)

(2009年新潟県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

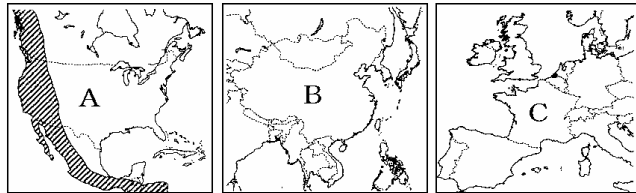
[解答] A 中国 B イギリス C アメリカ

[解説]

2007年の輸入相手国順位は、中国、アメリカである。したがって、Aが中国でCがアメリカで、残りのBはイギリスとわかる。Cからの輸出品第2位に航空機が入っていることからCはアメリカと判断できる。

[問題]

下の表は、日本、韓国、ドイツの貿易輸出相手先の国または地域を輸出額の多い順に示したものであり、表中の X～Z は、地図中の国 A～C のいずれかを示している。 X～Z のそれぞれの国名を書きなさい。



輸出相手先	輸出額 百万ドル	割合 %
X	142,143	17.5
Y	129,499	16.0
韓国	61,683	7.6
(台湾)	47,816	5.9
(香港)	41,778	5.2

輸出相手先	輸出額 百万ドル	割合 %
Y	81,985	22.1
X	45,884	12.4
日本	26,370	7.1
(香港)	18,654	5.0
(台湾)	13,027	3.5

輸出相手先	輸出額 百万ドル	割合 %
Z	128,610	9.7
X	100,128	7.5
イタリヤ	97,128	7.3
イギリス	89,213	6.7
フランス	85,178	5.4

(2006年新潟県)

[解答欄]

X	Y	Z
---	---	---

[解答] : アメリカ合衆国 Y: 中国 Z: フランス

[解説]

日本の最大の輸出相手国 X はアメリカ合衆国(地図 A)である。日本の輸出超過が続いており、日米間ではしばしば貿易摩擦がおこっている。Y は中国で、日本の中国(地図 B)への輸出額は年々増えており、現在、中国はアメリカ合衆国に次いで第 2 位の輸出相手国となっている。ドイツは EU 諸国との貿易がさかんである。輸出相手国の第 1 位 Z はフランス(地図 C)である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P322・350・351

[問題]

太郎さんは、日本と、世界の各地域との貿易について調べました。右の資料は、そのとき調べたものの一部です。資料のア～エは、それぞれアジア、中央・南アメリカ、ヨーロッパ、アフリカのいずれかです。ヨーロッパにあたるものを、ア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。なお、資料では、ヨーロッパからの輸入額に、ロシアなど、かつてソ連を構成していた国々からの輸入額も含まれています。

地域名	日本の輸入額(百億円)		
	1995年	2000年	2008年
ア	1456	2239	4,943
北アメリカ	810	873	937
イ	560	617	974
オセアニア	174	193	538
ウ	112	118	286
エ	44	54	217

(2007 年山形県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

日本の輸入相手地域(2008 年)は、アジア(ア)(62.6%)・ヨーロッパ(イ)(12.3%)・北アメリカ(11.9%)・オセアニア(6.8%)・中南アメリカ(ウ)(3.5%)・アフリカ(エ)(2.8%)である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P319・320

【】貿易：品目

[問題]

右の資料の X, Y に入る品目を次からそれぞれ選びなさい。

〔石炭 原油 果実類 機械類 船舶〕

(2006 年富山県)

[解答欄]

X	Y
---	---

[解答]X：機械類 Y：原油

[解説]

わが国の最多輸出品目は機械類 X と自動車。わが国の最多輸入品目は原油 Y と機械類 X。近年、原油の国際価格は急騰しているのでわが国の対外支払額は増えている。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P312

輸出(%)		輸入(%)	
[X]	38.6	[Y]	23.6
自動車	17.0	[X]	18.6
鉄鋼	5.6	液化ガス	7.4
自動車部品	3.8	衣類	3.3
プラスチック	2.8	精密機械	2.2

[問題]

今日、わが国は世界各国から多様な品目を輸入している。そのうち、2008 年に輸入した小麦、石炭、自動車について、それらの品目と最大の輸入相手国との組み合わせとして、最も適当なものとはどれか。下の表中のア～エのうちから一つ選んで、その記号を書け。

	ア	イ	ウ	エ
小麦	アメリカ合衆国	オーストラリア	オーストラリア	ドイツ
石炭	オーストラリア	アメリカ合衆国	ドイツ	オーストラリア
自動車	ドイツ	ドイツ	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国

(2008 年香川県)

[解答欄]

--

[解答]ア

[解説]

輸入品目ごとの最大の輸入相手国(2008 年)をあげると、

石油(サウジアラビア)、石炭(オーストラリア)、液化天然ガス(マレーシア)

鉄鉱石(オーストラリア)、銅鉱(チリ)、アルミニウム(ロシア)、木材(カナダ)

小麦・大豆・とうもろこし・綿花・米(アメリカ)、羊毛(オーストラリア)

肉類(アメリカ)、魚介類(中国)、野菜(中国)

衣類(中国)、自動車(ドイツ)、航空機・医薬品・精密機械(アメリカ)、電子部品(台湾)

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P318

[問題]

下の表は、日本が小麦を多く輸入している上位3か国について、2007年の小麦の日本への輸出量及び生産量と、主な収穫時期についてまとめたものである。()に当てはまる国名を書きなさい。

国名	日本への輸出量 (2007年)	総輸出量 (2006年)	生産量 (2007年)	主な収穫時期
アメリカ	3,167千トン	23,377千トン	53,603千トン	6月～8月
カナダ	1,136	18,498	20,641	7月～9月
()	948	14,976	13,039	11月～1月

(2007年大分県)

[解答欄]

[解答]オーストラリア

[解説]

小麦の輸入相手国(2008年)は、アメリカ(60.6%)・カナダ(23.7%)・オーストラリア(15.5%)である。小麦は、北半球では3～10月に、南半球にあるオーストラリアでは11～2月に^{しゅうかくき}収穫期を迎える。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P158・159

[問題]

下の表は日本の小麦・大豆の輸入先、各国の米・とうもろこしの生産量を示している。2つの表のA、B、Cはそれぞれ同じ国を示しており、中国・アメリカ合衆国・オーストラリアのいずれかである。A、B、Cにあてはまる国を答えなさい。

日本の小麦・大豆の輸入先(2008年)			
小麦		大豆	
国	(千t)	国	(千t)
A	3,658	A	2,728
カナダ	1,181	ブラジル	568
B	933	カナダ	325
		C	115
その他を含む合計	5,781	その他を含む合計	3,711

米・とうもろこしの生産量(2007年)		
国	米 (千t)	とうもろこし (千t)
A	8,956	332,092
B	126*	380*
C	187,040	151,970
日本	10,970	-

(*は2006年)
(2007年兵庫県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A アメリカ合衆国 B オーストラリア C 中国

[解説]

小麦と大豆の輸入相手国の第一位はともにアメリカである。したがって、A はアメリカと判断できる。小麦の輸入相手国は、アメリカ(60.6%)・カナダ(23.7%)・オーストラリア(15.5%)なので、B はオーストラリアとわかる。C は米の生産量が圧倒的に多いことから中国とわかる。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P158・161

統計修正：「世界国勢図会 2009/2010 年版」P227

[問題]

明子さんは、オーストラリアと日本との貿易について調べたところ、オーストラリアからの輸入量の多い品目があることがわかりました。資料は、そのとき調べたものの一部です。資料の、
にあてはまるものを、次の[]からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(日本におけるある品目の輸入先上位 3 か国) (2008 年)

品目：()		品目：()	
国名	%	国名	%
アメリカ	60.6	オーストラリア	52.9
カナダ	23.7	ブラジル	18.6
オーストラリア	15.5	南アフリカ共和国	5.3

[小麦 天然ガス 米 原油 鉄鉱石 とうもろこし]

(2009 年山形県)

[解答欄]

--	--

[解答] 小麦 鉄鉱石

[解説]

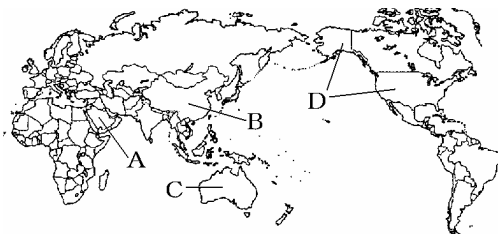
[]の品目の中でアメリカが最大の輸入相手国であるのは、小麦、米、とうもろこしである(2008年統計：以下同じ)。米の輸入相手国の第2位以下はタイ、ベトナム、中国などアジアの国が並ぶので、は米ではない。とうもろこしの輸入はアメリカが99%近くをしめるので、はとうもろこしでもない。アメリカ・カナダ・オーストラリアの順番になるのは小麦の輸入である。ちなみに、大豆もアメリカからの輸入が72%をしめている。

[]の品目の中でオーストラリアが最大の輸入相手国であるのは、鉄鉱石だけである。鉄鉱石の輸入相手国(2008年)は、オーストラリア(52.9%)、ブラジル(33.0%)、南アフリカ共和国(5.3%)、インド(4.2%)である。石炭もオーストラリアが第1位である。石炭の輸入相手国(2008年)は、オーストラリア(63.3%)、インドネシア(13.0%)、カナダ(7.6%)、中国(7.3%)である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P318

[問題]

次の表は、2008年における我が国の小麦、石炭、精密機械の輸入額および輸入相手国(上位3か国)の輸入額に占める割合を示したものである。表中の～は、略地図中のA～Dのいずれかの国である。にあてはまるのは、A～Dのうちどれですか。



品目	輸入額(億円)	輸入相手国の輸入額に占める割合(%) (2008年)			
小麦	3,393	[] 60.6	カナダ 23.7	[] 15.5	
石炭	30,505	[] 63.3	インドネシア 13.0	[] 7.3	
精密機械	17,180	[] 24.1	[] 21.5	スイス 12.0	

(2007年岡山県)

[解答欄]

[解答]C

[解説]

小麦の輸入(2008年)相手国は、アメリカ(60.6%)、カナダ(23.7%)、オーストラリア(15.5%)で、石炭の輸入(2008年)相手国は、オーストラリア(63.3%)、インドネシア(13.0%)、中国(7.3%)。したがって、はアメリカ(D)、はオーストラリア(C)、は中国(B)である。なお、Aはサウジアラビアである。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P317・318

[問題]

次の表は、オーストラリア、韓国、サウジアラビア、フランスについて、それぞれの国の日本への輸出総額と主要輸出品の割合(2008年)を示したものである。それぞれの国に当てはまるものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。

	日本への輸出総額(億円)	日本への主要輸出品の割合(%)		
		第1位	第2位	第3位
ア	52,927	原油 (88.4)	液化石油ガス(6.9)	石油製品(3.3)
イ	11,004	機械類 (19.1)	医薬品(8.3)	ぶどう酒(7.9)
ウ	49,216	石炭 (39.2)	液化天然ガス(14.9)	鉄鉱石(14.7)
エ	30,520	機械類 (38.7)	石油製品(12.1)	鉄鋼(10.2)

(2008年新潟県)

[解答欄]

オーストラリア：	韓国：	サウジアラビア：	フランス：
----------	-----	----------	-------

[解答]オーストラリア：ウ/韓国：エ/サウジアラビア：ア/フランス：イ

[解説]

原油を多く日本に輸出しているアはサウジアラビアで、石炭と鉄鉱石を輸出しているウはオーストラリアである。イとエはフランスが韓国であるが、イの輸出品の中にぶどう酒があることから、イはフランスと判断できる。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P324～334

[問題]

次の表は、オーストラリアに対する日本の輸出入額の上位 3 品目と総額に占める割合をあらわしている(2008 年)。()に入る鉱産資源名を書きなさい。

オーストラリアへの輸出	自動車(44.3%)，機械類(20.6%)，石油製品(11.3%)
オーストラリアからの輸入	() (39.2%)，液化天然ガス(14.9%)，鉄鉱石(14.7%)

(2009 年福島県)

[解答欄]

[解答]石炭

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P334

[問題]

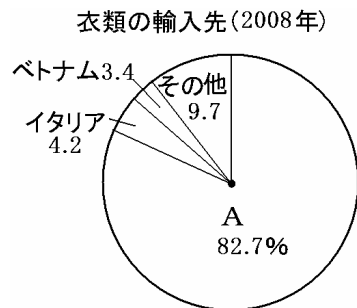
図は、2008 年のわが国の衣類の輸入総額に占める国別の割合を示したものである。図中の A 国は、アジアの国であり、1972(昭和 47)年にわが国との国交を回復し、その後、わが国との貿易が盛んになった国である。A 国の国名を書きなさい。

(2007 年大阪府)

[解答欄]

[解答]中国

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P318



【】貿易：その他

[問題]

加工貿易を、「原料」と「製品」の2つの語句を用い、20字以内で説明しなさい。

(2008年長野県)

[解答欄]

--

[解答]原料を輸入して、製品を輸出する貿易。

[解説]

工業の原料や燃料を輸入し、それを加工して、その製品を輸出する貿易のやり方を加工貿易かこうぼうえきという。日本は長い間、加工貿易に依存してきたが、最近では原材料だけでなく、食料品や衣料品、電化製品なども海外から輸入している。1960年代半ばには輸入総額の約70%が工業用原料であったが、今では約51%(2007年)に減少し、製品の輸入が約38%(2007年)をしめるようになった。製品の輸入が増加してきたのは、例えば中国の衣類のように、安い人件費でつくられた格安の製品の輸入が増えたためである。また、日本の企業が中国や東南アジアに工場をつくり、日本から輸入した部品を安い人件費で働く現地の人を使って組み立て、製品(電気製品など)を日本へ輸出するようになったためである。

[問題]

高度経済成長を通じて日本は貿易を拡大し、(輸出が輸入/輸入が輸出)を上回る貿易黒字が増加しました。このためアメリカ合衆国などとの間に貿易摩擦という問題がおき、1980年代、貿易不均衡が拡大すると、この問題は激化しました。また世界の自由貿易を拡大するために、1995年に(WTO/IAEA)という国際機関がつけられました。

(2005年神奈川県)

[解答欄]

--	--

[解答] 輸出が輸入 WTO

[解説]

わが国の最大の輸出相手国はアメリカであるが、長い間、日本の貿易黒字(アメリカの貿易赤字)が続いてきた。アメリカとの間では、1960年代に繊維・鉄鋼・カラーテレビ、70年代以降は自動車などについて貿易摩擦ぼうえきまさつがおこった。この問題を少しでも解消する目的で、日本の自動車工場がアメリカに進出し、現地生産を始めた。また、アメリカは農産品の輸入拡大を日本に求め、交渉の末、日本は、牛肉・オレンジ・米などの輸入自由化に踏み切った。

[問題]

太郎さんは、各国と日本との経済的な結びつきの状況を調べたいと思い、資料を集めました。次のア～エのうち、そのことを調べるための資料として適切でないものはどれか、1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 各国の産業別就業人口の割合と日本の産業別就業人口の割合
- イ 各国の輸入総額に占める日本からの輸入額の割合
- ウ 各国に対する日本からの二国間政府開発援助(ODA)の規模
- エ 各国に進出している日本企業の数

(2006 年山形県)

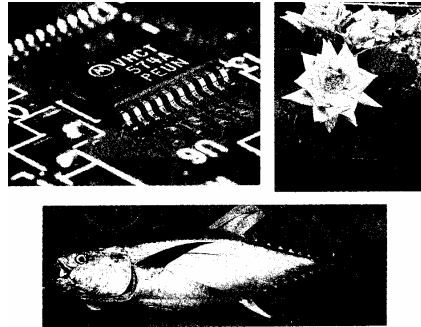
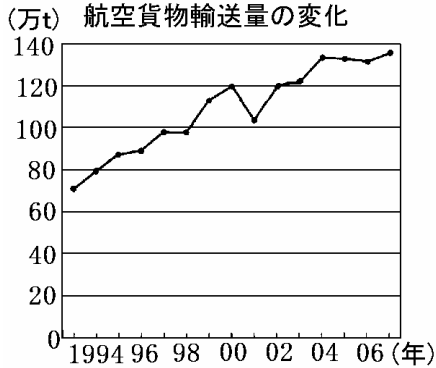
[解答欄]

[解答]ア

【】 港湾・空港

[問題]

次の資料からわかるように、近年、航空路線が整備され航空貨物が増えている。資料を参考にして航空貨物として輸送されるものの特徴を簡潔に書きなさい。



(2009年佐賀県)

[解答欄]

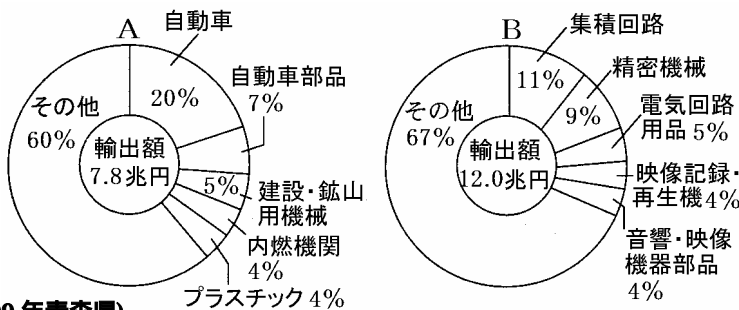
[解答] ICのように小さく軽量なわりに値段の高いものや、魚介類や生花のように鮮度が大切なもの。

[解説]

ICなどの電子部品の輸送には航空機が使われることが多い。これは、値段の割に軽いため、運賃が高い航空機で輸送しても、価格に占める輸送コストの割合が小さいためである。また、生鮮食料品や花など鮮度を保つためにすばやく輸送することが必要で、値段の高いものも航空機で輸送される。

[問題]

資料のA,Bは、成田国際空港と横浜港の輸出総額と輸出品目の割合を示している。このうち、成田国際空港はA,Bのどちらか、その記号を書きなさい。また、選んだ理由も書きなさい。



(2009年青森県)

[解答欄]

--	--

[解答]B / B の品目は値段の割に軽量で小型の製品が多いから。

[解説]

日本と外国との物の輸送は海上輸送が航空輸送が使われる。海上輸送は時間はかかるが大量に安い輸送費用で運ぶことができるので、量的には国際間の輸送の中心になっている。原油等の燃料や工業原料、自動車や機械類など値段の割に重い物資は、海上輸送が使われている。

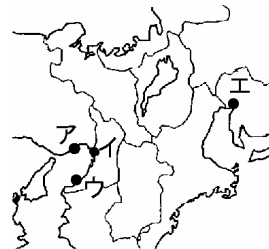
航空貨物はIC(集積回路)など、軽いわりに値段が高いものが中心である。日本から航空機を使って輸出される貨物(2008年)は21.5兆円で、半導体等電子部品(19.0%)、科学光学機器(5.9%)、映像機器(5.9%)、事務用機器(3.8%)、電気計測機器(2.3%)、医薬品(1.4%)である。

統計：「日本国勢図会 2009/2010年版」P418

[問題]

次の問いに答えなさい。

港 (空港)	輸出品目	輸入品目
X	IC(集積回路)・半導体 電気回路用品 通信機	医薬品 通信機 IC(集積回路)
Y	自動車 自動車部品 金属加工機械	石油 液化ガス アルミニウム



- 資料の X は、略地図のどの港または空港にあたるか。ア～エから1つ選びなさい。また、それを選んだ理由も書きなさい。
- 資料の Y の港がある一帯には、自動車工場やコンビナートをもつ日本有数の工業地帯が広がっている。Y の港の主要貿易品目から考えて、この工業地帯名を書きなさい。

(2007年滋賀県)

[解答欄]

(1)	
(2)	

[解答](1)(記号)ウ(理由)主要貿易品目が小型で軽量なので航空機での輸送に適しており、空港だと考えられるから。(2) 中京工業地帯

[解説]

略地図のAは神戸港，Iは大阪港，Uは関西国際空港，Eは名古屋港。Xは主要貿易品目が小型で軽量のIC(集積回路)などで，航空機での輸送に適していることからUの関西国際空港と判断できる。Yは主要輸出品が自動車や自動車部品なので，Eの名古屋港と判断できる。名古屋港のある中京工業地帯は，トヨタ自動車の本社・工場があり，自動車工業がさかんである。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P342

[問題]

右のA～Uは，2008年の新東京国際空港(成田空港)，東京港，名古屋港のいずれかの輸出入それぞれの上位2品目と，輸出と輸入それぞれの合計額に占める割合などを表したものです。それぞれの貿易港にあてはまるものを，A～Uのうちから1つずつ選び，その記号を書きなさい。

	輸出(金額単位：百万円)	輸入(金額単位：百万円)
A	自動車 31.8%	石油 13.7%
	自動車部品 12.0%	液化ガス 12.3%
	合計額 11,083,130	合計額 5,277,042
I	集積回路 9.2%	集積回路 12.2%
	科学光学機器 6.6%	科学光学機器 7.2%
	合計額 11,208,563	合計額 11,366,825
U	コンピュータ部品 8.8%	衣類 7.0%
	プラスチック 5.7%	コンピュータ 6.9%
	合計額 5,369,281	合計額 8,009,108

(2006年岩手県)

[解答欄]

新東京国際空港：	東京港：	名古屋港：
----------	------	-------

[解答](新東京国際空港)I (東京港)U (名古屋港)A

[解説]

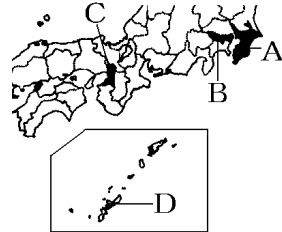
Iは集積回路，科学光学機器など軽量で値段の高い品目が上位を占めているので空港であると判断できる。したがって，Iは新東京国際空港である。Aは自動車，自動車部品が輸出の中心なので，トヨタ自動車のある愛知県の名古屋港と判断できる。残りのUは東京港である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P341・342

[問題]

次の表は、略地図上の A～D の都府県について調べたものである。C 府を示すものはどれか、表中のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。(表中のア～エは、A～D のいずれかの都府県である。)

都府県	国内線旅客 輸送(千人)	国際線旅客 輸送(千人)	製造品出荷 額(億円)
ア	31,209	1,563	106,198
イ	8,500	280	5,364
ウ	10,680	10,954	168,799
エ	543	30,621	130,099



(2009 年山梨県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

A は千葉県、B は東京都、C は大阪府、D は沖縄県である。

国際線旅客輸送量が一番大きいエは、新東京国際空港(成田空港)のある千葉県(A)と判断できる。

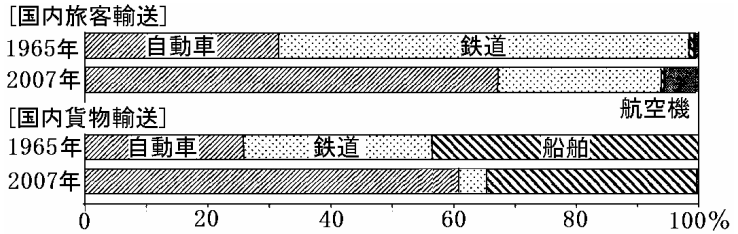
国内線旅客輸送量が一番大きいアは、東京国際空港(羽田空港)のある東京都(B)と判断できる。

製造品出荷額が一番少ないイは沖縄県(D)と考えられる。したがって、残りのウが大阪府(C)である。

【】自動車・鉄道輸送・海上・航空機

[問題]

次の図を見て、旅客輸送と貨物輸送の輸送機関別の割合の変化について、共通して見られる点を、「自動車」「鉄道」の語を用いて簡潔に書きなさい。



(2006年茨城県)

[解答欄]

[解答]自動車の割合が増えて、鉄道の割合が減った。

[解説]

鉄道輸送は、かつては国内旅客・貨物輸送のどちらにおいても中心的な輸送機関であった。例えば、東京オリンピックが開催された1960年代半ば、地方から東京の大学に進学が決まり、布団などの荷物を新しい下宿先へ送るなどの場合は、国鉄(現在のJR)を利用するのが普通であった。最寄りの国鉄の貨物取扱駅かもつとりあつかいほきに荷物を持っていき、下宿に最も近い国鉄の貨物駅までの輸送を依頼したものである。荷物は貨物駅で行き先別に仕分けされて貨車に積み込まれるが、輸送途中で貨車は方面別にかためて編成を組みなおされていくため、目的の駅に到着するまでに1週間くらいかかるのが普通であった。

1963年に高速道路が初めて開通し、1969年には東名高速道路が全線開通し、その後、全国に高速道路網が広がっていった。また、国道を中心とする一般道路も整備されていった。これによって、長距離のトラック輸送が可能になった。トラックは鉄道と比べ少量単位の輸送が可能のため、積み替えを行う必要がなく、戸口から戸口へ短時間で運ぶことが可能になった。こうして、トラックでの輸送が、陸上交通の主役になった。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P405

[問題]

自動車による輸送が伸びている理由を、右の資料を参考に簡潔に書きなさい。

高速道路の整備状況

(2004年奈良県)

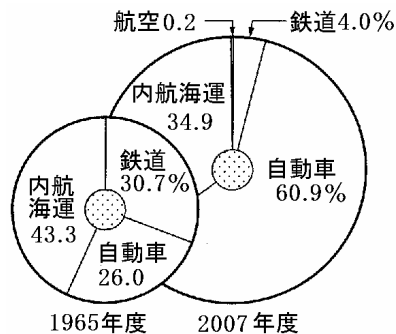
[解答欄]

[解答]高速道路網の整備が進んだから。



[問題]

次のグラフ・は、それぞれ1965年度と2007年度の船・鉄道・自動車・航空による国内貨物輸送量の割合を示しています。下のア～エのうち、国内貨物輸送量の割合の変化と関係の深いことがらとして、最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。



- ア 貿易摩擦の発生
- イ 原油価格の上昇
- ウ 道路網の整備
- エ 鉄道網の整備

(2006年広島県)

[解答欄]

[解答]ウ

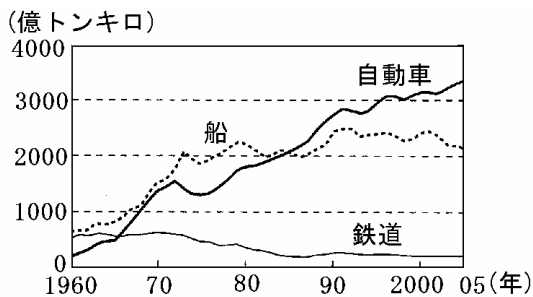
統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P404

[問題]

次の資料は、国内貨物輸送における交通機関別輸送量の変化を示したものである。

自動車による輸送量増加の原因として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア バブル経済の崩壊
- イ 燃料電池自動車の普及
- ウ 高速道路網の整備
- エ 生産拠点の海外移転



(2009年奈良県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

次のア～エは、自動車、鉄道、船、飛行機のいずれかによる輸送の特色について述べたものである。自動車による輸送の特色として適切なものを1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 一度に大量の貨物輸送が可能
- イ 長距離でも短時間で輸送が可能
- ウ 排出ガスを出さない輸送が可能
- エ 積みかえなしでの輸送が可能

(2004年奈良県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは船、イは飛行機、ウは鉄道のことを述べている。

[問題]

海上輸送は、現在でも重要な輸送機関となっている。海上輸送の特徴を正しく説明したものを、下のア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 大量の旅客や貨物を、都市部でも時間に正確に輸送できる。日本では旅客輸送が中心であるが、アメリカ合衆国では主に貨物輸送に利用されている。
- イ 迅速に2地点間を結ぶ輸送手段として発達している。しかし、気象による制約が大きく、運賃が高い。重量物の大量輸送には適さない。
- ウ 重量物を長距離にわたって大量・安価に輸送することができる。国際貿易には欠かせない輸送手段であるが、速度が遅いため、運搬に時間がかかる。
- エ 戸口から戸口への輸送が可能だが、大量輸送には適さない。また、騒音、大気汚染などの環境問題の一因となっている。

(2008年佐賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]アは鉄道、イは航空機、ウは海上、エはトラックによる輸送である。

【 】本四連絡橋など

[問題]

右図の A は、本州四国連絡橋の一つで、岡山県と香川県を結んでいる。

A の橋の名称を書きなさい。

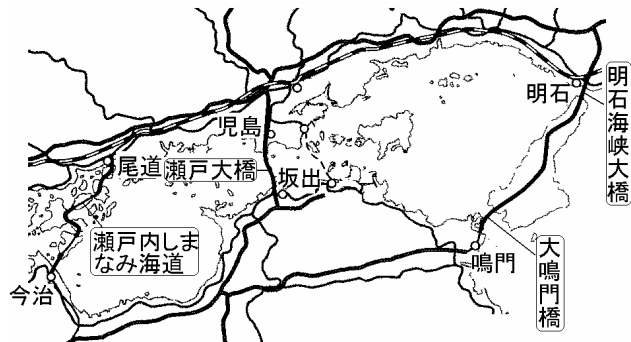
(2004 年茨城県)

[解答欄]

[解答]瀬戸大橋

[解説]

本州と四国を結ぶ 3 つのルート
の橋をまとめて本州四国連絡橋という。
3 つの連絡橋の中で最も早い 1998
年に開通したのは、岡山県の児島と
香川県の坂出を結ぶ瀬戸大橋である。
同年、兵庫県の明石と淡路島と
徳島県の鳴門を結ぶ明石海峡大橋
(明石 - 淡路島)と大鳴門橋(淡路島
- 鳴門)が開通した。さらに、1999
年には、広島県の尾道・愛媛県の今治を結ぶ
瀬戸内しまなみ海道が開通した。



[問題]

右の資料に示した本州四国連絡橋の A、B のルートはそれぞれ何県と何県を結んでいるか。次の、に当てはまる県名を書きなさい。

A...兵庫県と()県

B...広島県と()県

(2004 年奈良県)

[解答欄]

--	--

[解答] 徳島 愛媛



[問題]

本州の()と四国の()を結ぶ児島・坂出ルートの完成によって、本州と四国との行き来が便利になるとともに、人の交流が活発になった。

[愛媛県 香川県 徳島県 岡山県 兵庫県]

(2006年北海道)

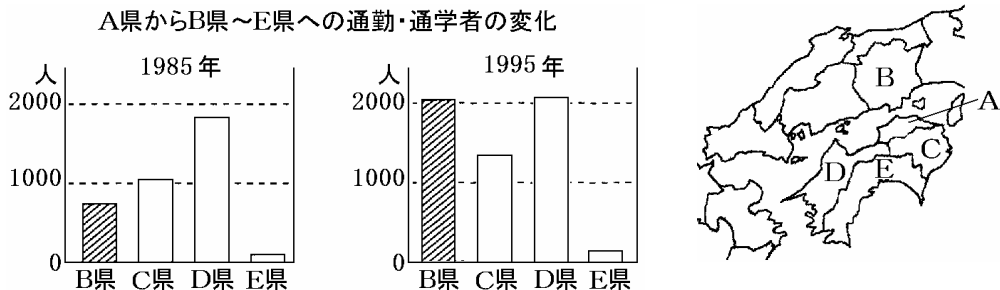
[解答欄]

--	--

[解答] 岡山県 香川県

[問題]

下のグラフは、A県からB県～E県への通勤・通学者数の変化を表している。B県への通勤・通学者数が特に増加したおもな理由を書きなさい。



(2006年福島県)

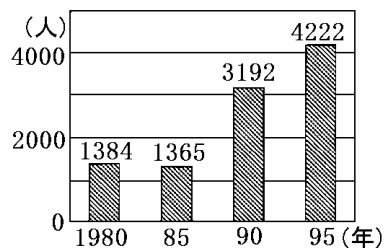
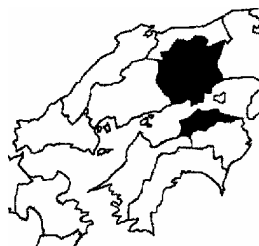
[解答欄]

--

[解答] 瀬戸大橋が開通し、鉄道や自動車通勤・通学ができるようになったから。

[問題]

右の資料は、略地図中に●で示した2つの県を行き来する通勤・通学者数の推移を表したものである。資料から、1985年と1990年の間に両県間の通勤・通学者数が急増したことがわかる。なぜ急増したのか、その主な理由の1つを、1988年に両県の間であったできごとと、それに伴う両県間の行き来に必要な時間の変化にふれて、書きなさい。



1988年に両県の間であったできごとと、それに伴う両県間の行き来に必要な時間の変化にふれて、書きなさい。

(2004年三重県)

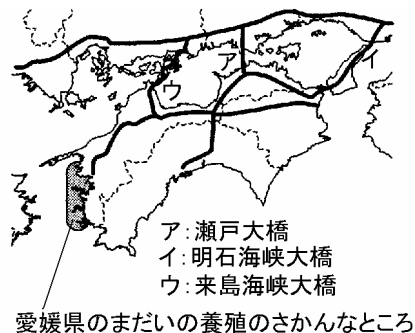
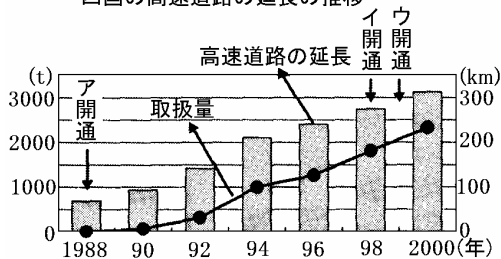
[解答欄]

[解答]2つの県を結ぶ瀬戸大橋が開通し、行き来に必要な時間が短縮され、通勤・通学がしやすくなったから。

[問題]

愛媛県産のまだいはおもにトラックで運ばれている。東京市場において、愛媛県産のまだいの取扱量が増えてきたのはなぜか。その理由を、資料と地図から読み取れることをもとに、[高速道路、橋]の2つの語句を含めて書きなさい。

愛媛県産まだいの東京市場における取扱量と四国的高速道路の延長の推移



(2006年長野県)

[解答欄]

[解答]高速道路の延長と橋の開通により、短時間で運べるようになったから。

[問題]

四国にある4県のうち、本州四国連絡橋が架けられていない県が1つだけある。その県名を書きなさい。

(2006年佐賀県)

[解答欄]

[解答]高知県

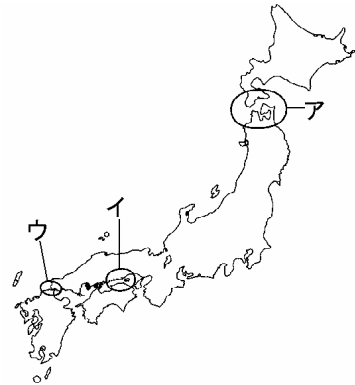
[問題]

次の A～C の文は、右の略地図中のア～ウで示した地域のうち、それぞれいずれかについて述べたものです。A～C にあてはまる地域を、ア～ウのうちからそれぞれ 1 つずつ選び、その記号をすべて書きなさい。

A かつては、連絡船が兩岸を結ぶ旅客輸送の大動脈となっていたが、近年、道路と鉄道をあわせもつ大きな橋が開通した。

B 兩岸は日本最初の海底鉄道トンネルで結ばれその後、橋も建設された。現在では新幹線が海峡を通過して東京まで運行されている。

C かつては、兩岸は海峡をわたる連絡船で結ばれていた。その後、世界最長の海底トンネルが開通し、鉄道で結ばれた。



(2005 年岩手県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A イ B ウ C ア

[解説]

A はイの本州四国連絡橋、B はウの関門トンネル、C はアの青函トンネル

【】通信その他

[問題]

世界の交通・通信について、次のア～エのうち誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 航空機で輸送される国際貨物には、宅配便のほかにICなどの軽い電子機器がある。
- イ 魚介類、生花などは、大型船によって海上輸送される。
- ウ インターネットの普及によって、世界各地との情報交換も簡単にできるようになった。
- エ 国際的な通信は、通信衛星や海底ケーブルによってささえられている。

(2007年沖縄県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

せんと
鮮度が要求される品は時間のかかる海上輸送では運ばない。

[問題]

現代の世界の交通・通信について述べた文として誤っているものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア 人々の国際間の移動や交流の範囲は広がっている。
- イ 航空交通網は地域的な差がなく均等に発達している。
- ウ 海上交通は貨物輸送量の上で重要な役割を果たしている。
- エ インターネットの普及など、通信の国際化が進んでいる。

(2008年京都府)

[解答欄]

[解答]イ

